

しいやみつのりさんが描く

「マンガ・若山牧水」

仮称制作・刊行会、普及会が発足

出版生誕の8月24日を目標に活動

若山牧水没後90周年記念事業として進められている「マンガ・若山牧水」の制作・刊行会（仮称）と制作後の販売などを担う普及会（仮称）が28日、設立された。延岡出身の漫画家しいやみつのりさん（64）＝埼玉眞熊谷市＝が牧水の入門書として描くもので、刊行会は牧水生誕祭の8月24日に出版できるよう準備を進めていく。

しいやさんは漫画家赤塚不二夫さんのフジオフロでチーフ・アシスタントを務め、30歳の時に独立。これまで歴史や人物入門書も手掛けている。若山牧水については以前から描きたいと考えていたという。夕刊テレイ

新聞に連載を始めたこともあり、それを知った同級生らが、若山牧水延岡顕彰会の相談役（前会長）塩月眞さんを紹介。塩月さんは著書の「牧水の風景」が原作。発行者は大正大学出版会。制作は大正大学（株）

これらを読んだしいやさんは昨年9月「本家の延岡の顕彰会から『マンガ・若山牧水』として発信した方が希少価値があるのでは」と塩月さんに手紙を書いていた。これをきっかけに延岡顕彰会や牧水の顕彰活動

原作は塩月眞さんの「牧水の風景」

「マンガ・若山牧水」は塩月眞さんの「牧水の風景」が原作。発行者は大正大学出版会。制作は大正大学（株）

この日は約20人が出席して延岡市下町の善正寺で会議を開き、準備会

がこれまでの経緯を説明。地域創生学部の学生が延岡に滞在し研修を行う大正大学が、その報酬事業として刊行に協力、5千部（予定）の印刷代を負担すること、地元は漫画制作費150万円を負担することで合意した

ほが、延岡市・日向市・高千穂町の観光協会、延岡工芸協同、同女性会、延岡市商工会連合会、同飲食業協会、牧水が第1回卒の延岡高校同窓会など県北の団体、企業など多数で構成。この代表に飯干さん、副代表に那須さんを選んだ。また、両方の事務局長を大正大学鴨台会南九州支部の事務局長田村智彰さん（三福寺副住職）が兼務する。

この二つの組織が結成されたことで「マンガ・若山牧水」が出版へ本格的に動き出した。普及会の代表となった飯干さんは「5千部を販売するという生やさしいことではない。精力的に理解、協力を得ながら普及に力をつけていきたい」とあいさつした。

かわまち交流館 整備効果を検証

これからの鮎やなを考える会

延岡



延岡市の「これからの鮎(あゆ)やなを考える会(片山俊之会長)は28日、大貫町のかわまち交流館で今年度の会を開き、同交流館の整備効果を検証した。4月に開館後2カ月で2800人以上が利用していることから「さらなる利活用の掘り起こしが必要だが、『食』の拠点施設ならびに市民交流施設、さらには河川空間の有効活用が図られていると認められる」と一定の評価を出した。

同会は、延岡市の丹波川水系で30年以上の大瀬川の流れが見える「かわまち交流館」の1階が開かれた。これからの鮎やなを考える会

「鮎やな」は、延岡観光協会が22年から毎年架設している。食事棟の常設化についても同交流館の完成で解決したことから「やな」存続問題は一段落したと片山会長は同交流館整備に際し、効果検証を必須要件とする国の拠点整備交付金を活用したことから、考える会に検証を依頼した。

計画では、やなシーズ以外の利用者数の目標値を今年度1万人、来年度1万2000人と掲げている。今年度の達成率は現時点で28%と、滑り出しは上々。しかし、開館から間がなく、本格的な検証にはデータが不足している。市は今後、利用者アンケートの項目を増やすなどしてデータを集め、来年度の考える会に提出する。

片山会長は「考える会で議論してきた成果の一つがこの交流館。目の前に川と新緑が広がり、とても気持ちがいい。秋には迫力ある鮎やなができ、観光客が楽しんでいただける場所になってほしい。考える会は、ここ

がどのように活用されるかを見守る必要がある」と話した。同交流館指定管理者の延岡観光協会によると、同交流館では7月7日に「チキン南蛮の日」イベント、8日に「沖繩家庭料理の会」、14日に「ケーキバイキング」、28日に「まつりのべおか花火大会」有料観覧席としての利用が予定されている。

から30日までと短く、漁獲量は32キلوにとどまった。食事は、市の「かわまち交流館」建設に伴い、営業期間を14日短縮したため、来場者は前年比17%減の1万6308人だった。

東京五輪への意気高める

あすまで ドイツ&スポーツフエスタ

延岡店

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けたドイツ&スポーツフエスタ(延岡市主権)が、きょうから同市旭町のイオン延岡店で始まった。

荒天のため初日の屋外イベントは中止となったが、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館からフーリドッヒ・ニーン副総領事を迎えての開会式やアスリート大会のトークショーを店内で開催。また、店外の屋下で、

ドイツ柔道の事前合宿誘致に力を入れている。開会式では競谷山洋司延岡市長が「みんなドイツを応援しよう」とあいさつ。ニーン副総領事は市内のスポーツ環境が優れていることを評価し、延岡とドイツの交流促進に期待した。トークショーには松田大志、川崎憲次郎、大山加奈、宗茂の4氏が登場。五輪体験や東京五輪で期待される選手などについて話

しファンが大勢訪れた。五輪とワールドで盛り上がったトークショー(きょう午前)



延岡水郷鮎やなの業績報告

考える会では、昨年度の延岡水郷鮎やなの業績報告もあった。天候不順で川の水位が下がらなかったため、やなの架設期間は11月1日

ト、8日に「沖縄家庭料理の会」、14日に「ケーキバイキング」、28日に「まつりのべおか花火大会」有料観覧席としての利用が予定されている。

から30日までと短く、漁獲量は32キلوにとどまった。食事は、市の「かわまち交流館」建設に伴い、営業期間を14日短縮したため、来場者は前年比17%減の1万6308人だった。

からみレンガ塀 不適合



延岡市の岡富中学校南側にある「からみレンガ塀」。28日から注意を喚起する張り紙を掲示している

4/20

延岡市教委 ブロック塀点検

岡富中大正時代の歴史ある塀

大阪府北部地震で小学校のブロック塀が倒壊し小学生が死亡した事故を受け、延岡市教育委員会が市内小中学校のブロック塀を点検した結果、法的に不適合な塀に岡富中学校の「からみレンガ塀」が含まれていることが、28日までに分かった。歴史ある塀でもあり、市教委で対応を検討している。

市教委は18日に発生した同地震を受け、20日から22日にかけて43校（小学校27校、中学校16校）を含む市有施設の緊急点検を実施し、25日に速報値を発表。小中学校については、その後改めて点検結果などを加えた上で、27日に応急修理が必要なブロック塀がある学校名などを公表している。

岡富中学校南側に残る

同塀は、大正初めに旧延岡高等女学校の塀として建造されたといわれ、使われたレンガは旧岡富主の内藤家が経営した白平銅山同市北方町横峰の「からみ（銅を精錬した後の残り）で作っている。当時は重なるような、現在は利用されていないが、現存しているのは珍しいとされる。

市教委によると、塀の高さは下部の石積み部分を合わせて約2・1メートル。建築基準法に適合する通常のブロック塀の高さは、基準は2・2メートル以下と規定されているが、「からみレンガ塀」のような組積造り（レンガ造り、石造りなど）の塀の場合は、高さ1・2メートル以下とされているため、法的に不適合と区分したという。

公表結果では、43校でブロック塀があるとした学校は17校（小学校14校、中学校3校）、そのうち「何らかの損傷がある」「応急修理が必要」は15校（小学校12校、中学校3校）で、延岡小、岡富小、旭小、

15校、同12校、同3校）、急修理が必要な塀があることに「応急修理が必要」と判断した学校など、塀に掲示する注意喚起の張り紙を配布。岡富中学校では同日、からみレンガ塀の2カ所に掲示するともに、生徒への安全指導などを行った。

点検結果を受け、市教委は「優先順位をつけながら検討し、早めに対応したい」とする一方、からみレンガ塀については「歴史的価値があるので、悩ましいところ。専門家など多くの話を聞き、今後どのような方法があるのか検討したい。もちろん安全面の配慮は当然行いながら慎重に検討したい」と話している。

延岡市立小・中学校のブロック塀の点検結果は次の通り。点検対象学校は43校（小学校27校、中学校16校）。

▼ブロック塀がある17校（小学校14校、中学校3校）
 延岡小、岡富小、旭小、恒富小、西小、南小、緑ヶ丘小、方財小、川島小、熊野江小、島野浦小、浦城小、北浦小、北川小、岡富中、南浦中、北浦中。

▼何らかの損傷がある・応急修理が必要15校
 延岡小、岡富小、旭小、

延岡市立小・中学校のブロック塀の点検結果は次の通り。点検対象学校は43校（小学校27校、中学校16校）。

延岡市立小・中学校のブロック塀の点検結果は次の通り。点検対象学校は43校（小学校27校、中学校16校）。

県立学校
 延岡市立小・中学校のブロック塀の点検結果は次の通り。点検対象学校は43校（小学校27校、中学校16校）。

延岡市立小・中学校のブロック塀の点検結果は次の通り。点検対象学校は43校（小学校27校、中学校16校）。

延岡市立小・中学校のブロック塀の点検結果は次の通り。点検対象学校は43校（小学校27校、中学校16校）。

延岡市立小・中学校のブロック塀の点検結果は次の通り。点検対象学校は43校（小学校27校、中学校16校）。

延岡市立小・中学校のブロック塀の点検結果は次の通り。点検対象学校は43校（小学校27校、中学校16校）。

■ブロック塀などの安全基準
 建築基準法では、ブロック塀の高さについては2・2メートル、厚さは10センチ以上（高さ1・2メートル以上、高さ1・5メートル以上、長さ3・4メートル以下）に規定されている。

出た控え壁の設置のほか鉄筋の配筋など。また、レンガ造りや石造り、鉄筋のないブロック造りなど組積造りの塀については高さ1・2メートル以下、長さ4メートル以下に塀の厚さの1・5倍以上突出した控え壁の設置などが規定されている。

控え壁がなかったり、3・4メートルとする控え壁の間隔が規定より広がった。

また、延岡高など高校4校と延岡しりやま支援学校では、不適合ではないものの倒壊の恐れがある塀も見つかった。

同課は「危険性の高い箇所は早急に安全対策を実施し、それ以外についても劣化の状況を見ながら計画的に改修したい」としている。

建築基準法に適合しないブロック塀が見つかっていた県立学校は次の通り。
 【高校】延岡、延岡商、富島、宮崎大宮、宮崎商、都城市、小林、西都農、都城市、西都農、高鍋、都農
 【特別支援学校】延岡しりやま支援学校

延岡しりやま支援学校も
 塀の恐れがある塀も5校で確認した。

厚み、傾き、ひび割れなどの劣化状況、強度を高める「控え壁」の有無を目視点検した。